

樹 姉 ば よ う

No.122
2014.12



慈悲喜捨

昨日といひ

今日とくらして

あすか川

流れてはやき

月日なりけり

『古今和歌集』春道列樹
昨日と言ひ今日と言つて
日々を暮らし、明日はもう
新年を迎える。飛鳥川の流
れが速いように、あつと言
う間に過ぎ去つてゆく月日
であることよ。

師走の声を聞くと、にわ
かに今年の残りが気に掛か
り出します。カレンダーが
残り一枚になり、来年のカ
レンダーを頂くようになる
と、今年も「終わり」の気
配が濃くなり、寂しくなっ
てきます。秋はいつの間
に暮れ、鮮やかだった紅葉
も褪せ、初冬の風が吹くと、
まさに落ち葉の季節です。

この季節、银杏や桜や
樺などの大樹の下には、
はらはらと絶え間なく落ち
葉が降るのを目にし、自然
の摂理の不思議さを感じま
す。咲く花の輝きも、降り
散る葉の勢いも、同じく人
間の思い通りにならない自
然の力なのです。人が理解
し得て、思うようにできる
ものというのは、もともと
それほど多くはないはずで
す。それなのに、思うよう
にゆかないことを嘆き、ま

た、苛立つのは、人の欲な
のでしよう。

鮮やかだった木々のもみ
じが、また一気に散つて行
く今のような季節に、自然
の移り変わりの姿を見てい
ると、改めて今ここに
自分も実はこの絶えず変転
する自然の一部なのだった
と思わされますし、かえつ
てなぜか、落ち着いた安ら
かな気持ちにもなります。
ゆく年の
をしくもあるかな

ます鏡

見る影さへに

暮れぬと思へば

『古今和歌集』紀貫之
過ぎ去つていく年の惜し
いことであるよ。年が暮れ
るのみでなく、澄んだ鏡に
映して見る私の影までも、
人生の暮に近づいてしまつ
たように思われるので。

『古今和歌集』の年末の
思いを詠んだ歌には、「過
ぎゆく時間の速さを思い行
く年を惜しむ」「時ととも
にうつろう定めなき世の中
の無常を思う」「暮れゆく
年と共に身の老いを嘆く」
の要素が詠われています。

毎年同じ季節が巡つてく
るのを眺めながら、生き物
は皆、等しく確実に命の終
わりに近づいてゆきます。
今日一日、一瞬の大切さを
意識していたいものです。

教頭 尾内 正彰

「いのちを考える」 (その二)

樹徳中学校・高等学校校長

野口 秀樹



二〇一四年も、あとひと月で終了します。時の経つのが本当に早くなったと感じます。四月からの八ヶ月間、ありがとうございます。

現在建設中の明照体育館は、十二月中旬に上棟式が行われる予定です。完成がほとんど近づいてきている姿を見るのは、何とも嬉しいものです。

さて、先月に続いて「いのちを考える」パート2をお送りします。

私の知人が送ってくれた冊子に、こんな記事が出ていました。中学一年生の道徳の授業で、「いのちを見た事がありますか」という質問をした、という話です。その質問に生徒達がどんな反応を示したか。実は、生徒達はきよとんとした顔を

していたそうです。ただ、質問した先生も、特別な解答を持っていなかった。ただ「いのち」について真剣に考えさせてみたかった。そして自分のいのちを感じさせたかったのだそうです。

しばらくの間、教室はシーンと静まりかえっていました。そして、一人の男子生徒が「先生、俺、いのち見た。」と声を上げました。その少年は、小学校の時に、自転車飛ばして坂を下り、急カーブを曲がりきれずに大怪我をし、救急車で運ばれました。痛かったです。怖かったです。「その時、もしかしたらいのちを見たかも。」その後、何人かが同様に手を挙げ、いのちを見たかもしれないという雰囲気クラスを包みましました。いつのまにか、生徒達にとつて「いのち」がとも身近な存在になっていた——こんな内容です。

皆さんは「いのち」を見たことがありますか。私は見たことがあります。それはいのちの誕生に立ち会ったときでした。これがいのちだ、と思いました。

先月はいのちの誕生の不思議について考えてみまし

た。両親から与えられた私のこのいのちが、今、どうやって生きていくのか。さらに話を進めていきましょう。

私は生徒達に話す機会があると、必ず「今、君は一所懸命生きていますか、十五歳の高校生徒として懸命に生きていますか」と質問します。すると、生徒も「自分なりに一所懸命生きています」としつかり答えてくれます。

さらに質問を重ねます。「空気がなくても生きられますか」……「水がなくても私たちが生きることができませんか」……「太陽がなくても生きられますか」……「生きることができませんか」……「太陽がなくて生きられますか」……「このように、一つ一つ確認していきます。人間は水、空気、太陽、このうちの何か一つがなくても生きていけないのです。」

私もそうですが、生徒達も今を懸命に生きておりません。それなのに、たかが「水」がなくなっただけで、私は生きていけないのです。

このようなことがあっていいのでしょうか。私が懸命に生きようとする力よりも、一番信頼できる自分の

力よりも、私が生きていくためには空気、水、太陽が必須であること。

このような力のことを「私を生かす他力」と言います。皆さんは気がついていましたか。実は「私を生かす他力に生かされている」ことに。そして感謝をしていましたか。

生きることを別の角度から見てみると、私たちは食べ物を食べないと生きていけないことにも気付きます。本当に悲しいことなのですが、他の生き物のいのちを頂かないと生きていけない。このことを「自然と食物連鎖だから当然のことだ」と片付けてはいけません。もし、私たちが食物連鎖の頂点でなく、人間を主食とする動物が連鎖の上位にいたとしたら、他の生き物の本当の気持ち私たちにも分かるはずなんです。

これが、私が生きていく現実だったのです。ものを食べる時、いや頂くとき、感謝の気持ちがないと頂ければならないのです。頂きたいのちが、私の中でいっばい輝くために。いえ、私が頂きたいのちを輝かさなければならぬ責任が、私たちには間違いなくあるのです。

「俺は誰の力も借りず、俺の力で生きていく」というのは、どうやら思い上がりやうです。今、私がどうやって生きていくのか、それが少し見えてきた気がいたします。

西行法師がこんな和歌を詠んでおります。

なにごとの

おはしますかは

知らねども

かたじけなさに

涙こぼるる

こんな心境が分かる気がしませんか。私たちは、今、一瞬一瞬を生かされていきます。その連続が生命です。この一瞬を支えてくれる何か見えないものまで含めて、その力に「ありがとうございます」と言いたくなります。

ですが考えて下さい。感謝さえすれば、私のいのちは完結するのでしょうか。多くの人々に、多くのものに支えられて生かされている。これが私のいのちの理由の全てではない。次回はこのことを追求してみたいと思います。

新しい年を迎えるための大事な準備期間、助走の十二月、毎日毎日を丁寧に努めてまいります。

合掌

ものあるところ 道がでる

「常識」の評価

二学期も残すところあとひと月となりました。三年生は、就職希望者のほとんどが内定をいただき、残りはあと数名、進学希望者も、指定校・公募の推薦による受験者の合格通知が連日のように届き、まずまずのペースで推移していると感じています。

さて、進路決定には面接が付きものですが、その際、常に問題となるのが「挨拶」や「常識」、「元氣」といったところでしょうか。特に就職に関しては、「元氣の良さ」「しっかりした挨拶」は非常に大きなポイントです。就職担当が企業の方と会った際の話の聞くと、そのことがよく分かります。「面接の前段階の会社訪問の時から、会社側は高校生をよく見ている。言葉遣

いを知らない者や、挨拶をはじめ常識的な対応ができない者は、見ていてすぐに分かる。部屋の出入りの際に挨拶はもとより、説明への反応一つとっても、日頃からのどのような態度をしているかはすぐに知れる。中には、ドアを開けてもらっても礼を言わず平然と出入りする者さえいる。企業は、そのような常識の無さが円滑な人間関係を阻害し、当事者のみならず最終的には企業全体の仕事、ひいては業績に悪い結果を及ぼすものであることを知っている。これは、営利を追求する企業組織にとって大変な問題である。だから当然のこととして、社員の採用にあたり、学業成績と同等かそれ以上に、言葉遣いや挨拶などの基本事項に注意を払っている。」

「ありがとうございます」
この言葉の中には、相手から受けたことへの感謝、また、相手を敬い大切にしている気持ちが含まれています。たった一言の挨拶、あるいは同様の気持ちを示す態度や行動が、人間同士の生活にいかにか効果の大きな潤滑剤になるか、保護者の皆様には十分ご理解いただけることと思います。日頃の生活の中に、これらの言葉がたくさんあれば、子供たちには自然と身につけていくものではないでしょうか。
「最近の若者は…」などと非難しても問題の解決にはなりません。基本的生活習慣の習得が十分か否かは、本人の幸、不幸を左右します。私たち大人が、根気よく声をかけることによって、子ども達からは、恥ずかしいとか、わざとらしいとかいう気持ちが消えて、身に付いた自然な一言が出てくるはずですよ。
(編集子)

「夜長」の注意

「秋の夜長」から、もう「師

走」になってしまいました。夜が長いこの季節、下校時間には闇が迫っています。ここで心配になるのが交通事故です。家路を急ぐ自動車、往來が激しい中、自転車通学生徒はライトの点灯、反射灯はもちろん、スポークフラッシュなど万全の備えをし、課外の生徒も、制服が黒・紺ということを考えて、事故に遭わないよう、自分を守る配慮をしよう、自分を守る配慮をしよう、群馬県は交通事故による死傷者が多く、常に警鐘が発せられている状況です。己の身は自分で守る、という大原則を忘れてはなりません。また、暗闇や、人通りの無い道を、女の子が一人で帰るような場合、別の注意が必要です。該当する生徒や保護者の方々にはぜひ、留意を促したいところです。
さて、「夜長」を子ども達はどのように過ごしているでしょうか。テレビやゲーム、パソコン、携帯電話などにばかり夢中になっているようなことはありませんか。期末テストが終わったからといって気を抜くことなく、常に机に向かう習慣を身につけましょ

う。言うまでもなく、夜遊びは非行化への一番の近道であり、親の知らぬ間に思わぬ不良行為に走っていたという事例もあると聞きませす。要は交通事故を防ぐのと同様、本人の自覚も当然ながら、周囲の指導や注意も必要です。「うちの子は今どこにいます?」「何をしています?」を常にはっきりさせておくことは、親としての義務だと思います。
年末年始は誘惑の多い時です。つまらぬことで嫌な思いをすることなく、穏やかに親子で過ごすようにしてはいかがでしょうか。
(生徒指導部)

桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前
■樹徳コミュニティセンター「み法」12月予定
(1)五人囃子展 主催 野村恵子さん 12日(金)～14日(日)
(2)アートスクール「編み組み教室」 主催 野村ナナ子さん 3日(水)、17日(水)
(3)七草ゼミナール塾 主催 上野丈雄さん 25日(木)

樹徳生の新たな学舎 「立志館」竣工

◆創立百周年を記念して建てられる新校舎のうち、最初に着工できた「立志館」が竣工、利用が始まりました。

この校舎はかつての第四校舎のあった場所に建設された教室棟です。四階建ての各階の廊下は、記念館と正道館の連絡通路の役割も担うようになり、校舎間を移動する際の導線が劇的に改善されました。

「立志館」にはこれまで第五校舎やセミナーセンターで授業を行っていた二年男子JコースおよびSS（スーパーサイエンス）コースの全学年が入り、白壁の美しい新教室での授業が始まりました。

なお、教室の移動に伴って、これまで長きにわたり学舎となっていた第五校舎とセミナーセンターがいよいよ解体の時を迎えます。感謝の念をもってその「最期」の時を見送ります。

立志館 正面より

真新しい教室での授業



新設された芸術室



美しく輝く廊下



音楽室は防音完備



明るくなった調理室



広く清潔な保健室

多目的に使える 133 選択教室



第2 コンピュータ室は
充実の最新設備



広大な
125・126 選択教室



校内合唱コンクール 栄冠は一貫校六年生に

十月二十三日、第二十八回合唱コンクールが開催されました。

夏休み以降、朝夕には校内に歌声が響きます。女子部の十五クラスがそれぞれ一丸となって挑むこの行事。歌唱力や姿勢・態度などを競いました。総合的な審査の結果、優勝は一貫校の六年生、準優勝が一貫校五年生、三位は一貫校四年生と一年k組が選ばれました。



順位	クラス	曲名	指揮者	伴奏者
一貫校6年				
優勝	課	小さい秋見つけた	境野 美仁	三本 明希子
	自	青春譜	関根 万里亜	板橋 奈央
一貫校5年				
準優勝	課	夏の思い出	日笠 綾乃	吉岡 綺美
	自	なぎさの地球	桜井 つばさ	桜井 絵莉香
一貫校4年				
3位	課	花	戸崎 萌花	橋本 芽依
	自	明日へ続く道	田口 奈緒	橋本 芽依
1年k組				
3位	課	小さい秋見つけた	尾根山 成綺	内田 夕加里
	自	言葉にすれば	後藤 唯香	兵藤 穂奈美

伴奏者賞 6年2組 板橋 奈央
パフォーマンス賞 3年j1組
審査員特別賞 2年j1組・1年j1組

販売甲子園に参加しました



販売甲子園とは、高崎えびす講市の一環として、高崎経済大学生が企画・運営をするイベントです。県内各地の高校から、生徒が考へ抜いた自慢の商品を持ち寄り、各チーム独自の方法で販売する大会です。そして、売上、接客などの審査や、お客様からの投票により、優勝が決定する熱き販売バトルなのです。

二、三年生の普通科総合コース情報商業選択者の男女九名が、十一月十六日

達成感を味わうことができました。来年は、今年の反省を活かし入賞を目指します。一、二年生の皆さん、このような学び・体験・交流が経験できる情報商業コースを選んでみてはいかがでしょうか。応援して下さい。皆様方、ありがとうございます。

(商業科 上田敏之)

結果は、残念ながら入賞とはなりませんでしたが、二日目は商品が完売することができました。三ヶ月間取り組んできた苦勞も吹き飛び、



完売を記念して

一貫校

中学校

だより

の意識が高まってきているのを感じました。

第八回 中学校体育祭

十月十七日に中学校体育祭が行われました。各団ともに本番に向けての行進や応援の練習も盛んに行われ、当日はグラウンド中が活気に満ちあふれていました。



「団長を通して」
紅組団長 蘭田貴弘
私は体育祭開催にあたって紅組団長に任命されました。思いがけないことと

でも驚きました。選ばれたからには紅組が一致団結できるような努力しようとして決意しました。



陸上部部長の経験はありましたが、その時とは比べものにならないほどの人数をまとめるという点で不安になりました。しかし今まで培ってきた経験を信じて、紅組団結のために考え行動しました。紅組のモチベーションが上がるような挨拶をしたり、予行練習では行進のリズムが合うように喉が枯れるほど声を出しました。皆



の協力の
おかげで
小さかつ
た声も次
第に大き
くなり、
足並みも
そろい、
一人一人

そして体育祭当日は「絶対勝つぞ」の掛け声とともに盛り上がり、紅組からは団結力がより一層強まっていると感じました。そしてそれが競技にも反映され、一人一人が持てる力を最大に活かしてくれたので予想を超える連勝となりました。結果、行進では最優秀賞を獲得し、総合優勝を果たすことができました。

私は団長に就任し、皆と一緒にひとつの事に取り組むという経験ができたことにとっても感謝しています。体育祭開催にあたって協力してくださった先生方、保護者の皆様、本当に有難うございました。

校内合唱コンクール

中学校最後の合唱コンクール。私たち三年二組は金賞を勝ち取ることができました。しかし本番までの道りは決して楽な道ではありませんでした。本格的



金賞を受賞した3年2組の模範演奏

に練習が始まったのも最初の朝練習に集まったのは二十四人中七人。正直私の中で焦りは大きく、意見のすれ違いが生じたり練習に對し気持ちだけが先走り、空回りしてしまったりもしました。それでも最後の練習の時、皆の表情はとも真剣で「明日は皆のことを信じて演奏しよう」と思いました。そして迎えた本番。多少の緊張はありましたが楽しんで演奏することができ、今までで一番の演奏ができたように思えました。

三年二組の演奏が終わり安心した反面、中学生としての合唱コンクールが終わってしまうことがとても寂しく感じました。でもクラス全員で一つの目標に向

合唱コンクール 成績

- 金賞 3年2組
- 銀賞 3年1組
- 銅賞 2年2組
- 最優秀指揮者賞
2年2組 関子田衣純
- 最優秀伴奏者賞
3年2組 加藤僚夏

かい達成できたことはとても嬉しかったです。そして結果発表。金賞で三年二組が呼ばれた瞬間、信じられないくらい幸せな気持ちになりました。重ねて伴奏者賞も受賞でき嬉しかったです。最後に、合唱コンクールに協力して下さった先生方、携わってくださった皆さん、そして三年二組のみんな、本当に有難うございました。

(三年二組 加藤僚夏)

平成 27 年度
樹徳中学校 第 2 期 入学試験
試験日 1月17日(土)
出願期間 1月7日～9日

樹徳中学校 第 3 期 入学試験
試験日 2月7日(土)
出願期間 2月3日～5日

お問い合わせは 0277-45-2257 まで

幼稚園だより

新制度と幼稚園

来春から変わります

園庭のみみじやイチヨウ、トウカエデの大き木が赤や黄色に染まり、晩秋から初冬への季節の変化を実感させてくれます。

二期期は運動会・親子遠足・母の会教養講座（シエルコンサート）・サツマイモ掘りと行事が続く、子どもたちはその一つひとつの行事に真剣に取り組む、協



力することの大切さや思いやり、達成感を身につけ、大きく成長できました。

さて、来年四月から「子ども・子育て支援新制度」が始まります。幼稚園・保育所・認定子ども園など、教育・保育・子育てに関する多様な施設や事業を充実させ、保護者がそれぞれの地域や実情に合った良質かつ適切な教育・保育等を選択できるように、消費税の財源を活用し、社会全体で費用を負担（施設型給付）する制度です。

私立幼稚園は、認定子ども園法により、①幼保連携型②幼稚園型③保育所型④地方裁量型の四類型から今後五年以内に選択いたしますが、課題も多く、本園は、新制度が始まる二十七年度は現行のまま幼稚園として運営していく予定です。移行には多くの課題を克服して

いく必要があるからです。

また、本年七月の教育再生実行会議の第五次提言では「幼児教育の質の向上のため、国は幼稚園教育要領について、子どもの言葉の習得など発達の早期化等を踏まえ、小学校教育との接続を意識した見直しを行う」と提言されました。これは、幼小連携による幼稚園教育の一層の充実が求められています。



しくお願いいたします。

幼稚園長 瀬谷 茂

このような大きな改革の流れの中で、今いる子どもたちの健やかな育ちのために、幼児教育の充実や、毎日の教育・保育に全力で取り組むことの大切さを痛感しております。また、新しい時代にふさわしい教育に取り組み必要性も肌で感じております。補助金（現行の私学助成金、施設型給付金）や一時預かり保育事業等をしつかりと見極めて、結論を出していかねばなりません。募集が始まっているこの時期に、的確な情報が保護者に広報されていないことや、幼稚園にお

園庭の遊具をリニューアル

本年度の事業として、園庭の遊具を十二月から整備します。大型遊具（トドラー スチョイスやスネークジャングルジム）の新設、木製吊り橋・丸太ステップ・木製平均台、その他遊具の塗装等、リニューアルします。現地調査測量も終わり、二月末までには工事が全て終わる予定です。楽しみにしていってください。

ホームページが新しくなりました

樹徳幼稚園のホームページがリニューアルされました

た。保護者の皆様のご期待にお応えできるよう、これからは、新しい情報や話題を発信し、幼稚園理解に発展させていきたいと思っております。是非アクセスし、ご意見をお寄せください。
ホームページアドレス
<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>



入園願書受付中

樹徳幼稚園にて、入園願書を受け付けています。四月入園生、満三歳入園生ともに募集中です。周りの方へ、ぜひご紹介下さい。

◎受付時間

平日 八時三十分～十八時

●願書は園に準備しております。また、樹徳中学校・樹徳中学校にも用意してありますのでご利用下さい。
●定員になり次第、入園受付を終了します。

●平日はいつでも見学できます。まずはお電話ください。職員一同、お待ちしております。

住所 桐生市広沢町3-4475
電話 0277(53)5571

12月(布施)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	月	2年修学旅行帰桐 暖房使用開始 LHR 3年SS K1 K2 S k組三者面談(～5日)	頭髮服装指導 挨拶運動	教育実習生観察実習(～5日) リズム(全)線(年少)
2	火	2年生代休(～3日)	中学校期末試験(～4日) 三者面談(～5日) 高校3時間授業(～5日)	
3	水			英語・文字と数(年長)
4	木			幼交連交通安全教室
5	金	後援会役員会③	中学校3時間授業	成道会・数珠くり(大善寺)
6	土	3年駿台センタープレテスト(～7日) 1・2年SS K S k組GTEC(午後)		
7	日			
8	月	LHR(人権教育) 学年主任会 成道会	挨拶運動	リズム(全)線(年少)
9	火		計算オリンピック②	入園面接(10:30～)
10	水	マイトリ基金拠金日		英語・文字と数(年長)
11	木	法人役員会②		体育(全)文字と数(年中)
12	金	校内マラソン大会 担任宛成績提出	校内マラソン大会	12月・1月生まれ誕生会
13	土	職員出勤日		
14	日			
15	月	朝礼 教科主任会	挨拶運動	リズム(全)線(年少)
16	火	教務宛成績提出		園外保育
17	水			お茶のお稽古⑥(年長・年中) 英語(全)文字と数(年長)
18	木	推薦・学奨入試願書受付(～19日)		体育(全)文字と数(年中)
19	金	2学期出欠締切 女子制服アフターサービス	マイ弁当の日 中学校成績会議	クリスマス会
20	土			
21	日			
22	月	学年別一斉指導 漢字テスト④ 成績会議	高校成績会議	
23	火	天皇誕生日		
24	水	終業式 大掃除 奨学生審査会②	終業式	終業式 餅つき大会
25	木	入試準備事務(～26日) 冬期特別課外授業開始 1 K学習合宿(～28日)	冬期特別課外授業(～27日)	冬休み 預かり保育①
26	金			預かり保育②
27	土			
28	日			
29	月	職員休暇		
30	火	職員休暇		
31	水	職員休暇		

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。また、5日は授業料納入日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL. 0277-45-2258 Fax. 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL. 0277-45-2257 Fax. 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL. 0277-53-5571 Fax. 0277-53-5572

平成26年に、明照学園は
創立100周年を迎えました

E-mail office@po.jutoku.ed.jp

URL http://www.jutoku.ed.jp/

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく